

基本構想の特徴

特徴：障がい者、高齢者、住民の方などの意見をいただきながら検討を進めました

さまざまな意見を反映した基本構想とするため、アンケート調査やワークショップなど、住民参画で検討を進めました。

特徴：スパイラルアップ（継続的・段階的な改善）をはかっています

基本構想を策定することをゴールとすることなく、策定後も継続的・段階的なバリアフリー化の推進に努めています。

特徴：心のバリアフリーを進めています

基本構想の実現に向けて、バリアフリー化に関する学習機会の提供等、「心のバリアフリー」を目的とした事業を位置づけました。

特徴：すべての住民が対象です

高齢者、障がい者（身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・発達障がい者を含む、全ての障がい者）、妊婦、けが人など、あらゆる人を対象とする「ユニバーサルデザイン」の考え方にに基づき、本基本構想は、すべての住民を対象としています。

基本的な方針

基本理念

人と人・心と心をつなぎ、広げる 人にやさしいまち はりま

基本方針

活力あるまちへとつなげるバリアフリー
継続的に町内へ広がるバリアフリー
住民とともに作るバリアフリー

検討の経緯

播磨町では、「播磨町バリアフリー基本構想策定協議会」を設置し、基本構想の策定に取り組んで来ました。策定にあたっては、ヒアリング調査、アンケート調査、ワークショップ、タウンウォッチング、パブリックコメント等を行い、障がい者、高齢者などさまざまな立場の利用者の意見を聞いています。



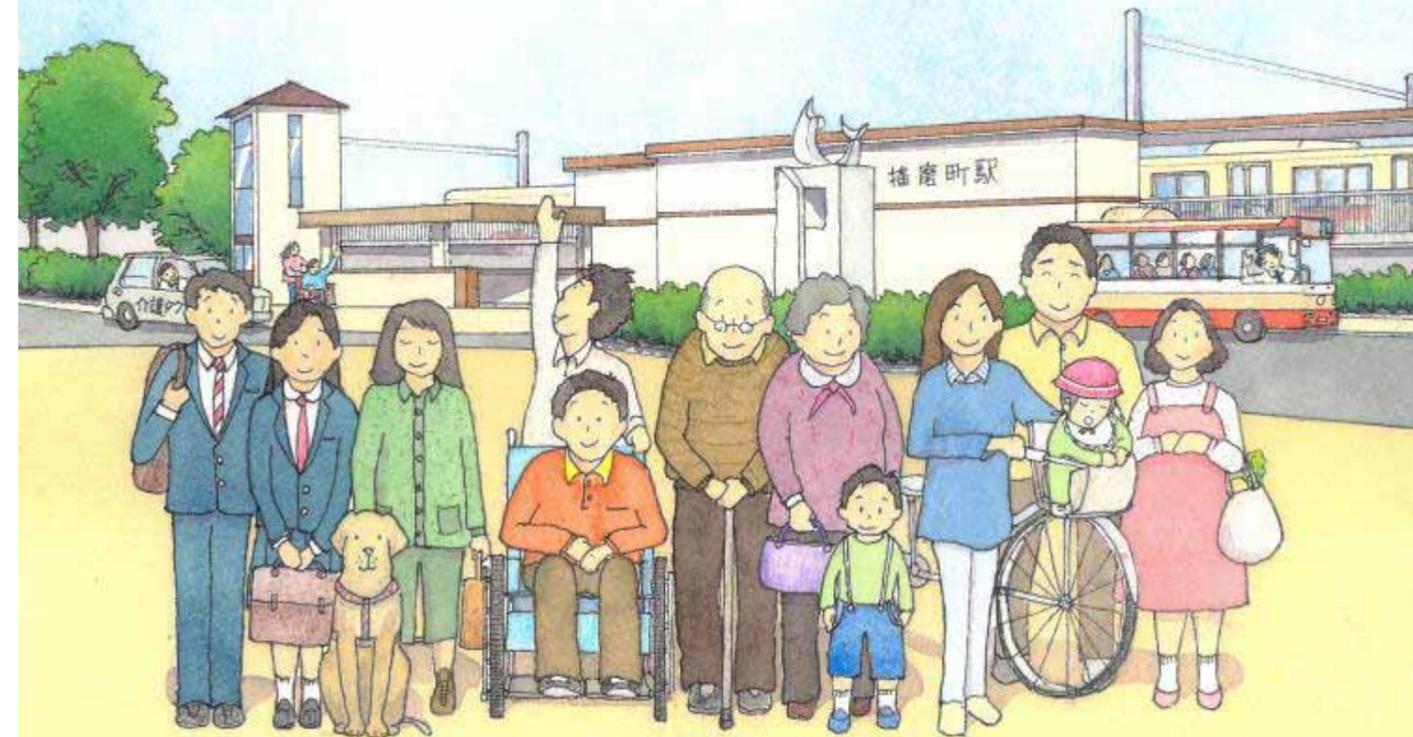
播磨町バリアフリー基本構想

～ 播磨町駅周辺移動等円滑化基本構想～

「人と人・心と心をつなぎ、広げる人にやさしいまち はりま」をめざして

高齢者、障がい者等が自立した日常生活や社会生活を営むことのできる生活環境の整備を目指し、移動等円滑化に関してより一体的・総合的な施策の推進を図るため「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」が平成18年に施行されました。

本基本構想は、このバリアフリー新法に基づき、山陽電鉄播磨町駅周辺において、旅客施設（鉄道・バス・タクシー）、道路、建築物などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進し、移動等の円滑化を図っていくことを目的としています。



平成 24 年 3 月

播 磨 町

問合せ先： 播磨町 企画グループ

〒675-0182 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5-30 電話：079-435-0356 ファックス：079-435-0609

E-mail : kikaku@town.harima.lg.jp

播磨町駅

- 移動経路の円滑化(エレベーターの設置等)
- トイレの改良(多機能トイレの新設等)
- ホームの安全性確保
- 券売機の改良
- 案内情報のわかりやすさの向上

地下道

- 移動経路の円滑化(エレベーターの設置等)
- 案内情報のわかりやすさの向上

駅前広場(南)

- 移動経路の円滑化
- エレベーター設置にあわせた移動経路の円滑化
- 駅前広場の改修

駅前広場(北)

- 移動経路の円滑化
- スロープの出入口から駅前広場方面へ移動するための経路の確保に向けた、土地所有者との調整や検討

道路(生活関連経路)

- 歩道の老朽化した舗装や凹凸の修繕
- 視覚障がい者誘導用ブロックの改善
- 歩道改良
- グレーチングの改良
- 歩行者と自動車の共存方策の検討
- 車止め用ボールの改善検討
- 溝蓋の設置検討

その他経路

- 喜瀬川右岸遊歩道
- 遊歩道整備の調整
- 播磨町役場南側スロープ
- スロープの改善方策の検討

交通施設(信号・交差点)

- 交通安全の取締り強化
- 危険個所の安全対策の検討

播磨町立図書館

- トイレの改善
- 案内情報のわかりやすさの向上

播磨町中央公民館

- 移動経路の円滑化
- スロープの改善

播磨町役場第一庁舎

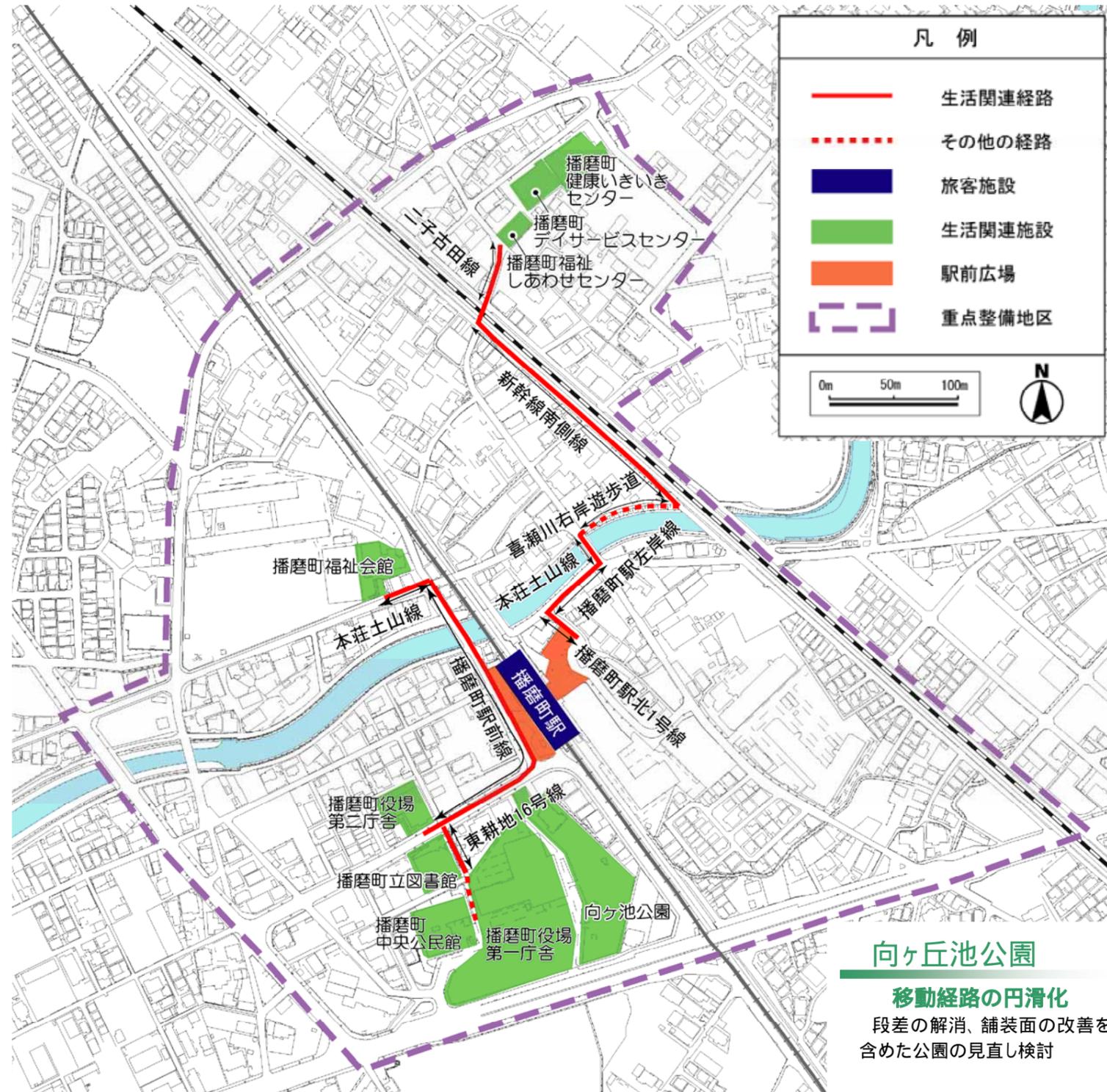
- 移動経路の円滑化
- 駐車スペースの検討
- エレベーターの改善
- 案内情報のわかりやすさの向上

タクシー

- バリアフリータクシーの導入・活用
- 福祉タクシー事業の推進

バス

- 低床車両の導入
- 案内情報のわかりやすさの向上



向ヶ丘池公園

- 移動経路の円滑化
- 段差の解消、舗装面の改善を含めた公園の見直し検討

心のバリアフリーの推進

施設の整備だけ進めても、利用者のモラルや使い方によってはそれらが活かされないことがあります。また、物理的なバリアに困っている人も、周囲の人の気遣いや思いやりの心で移動が可能になることもあります。そのため、バリアフリー化の重要性や障がい者・高齢者等に対する理解を深め、行動につなげる「心のバリアフリー」を推進していきます。

バリアフリー教育の推進

- 交通事業者の社員へのバリアフリー教育・研修
- 町職員・教職員への研修の充実
- 学校における福祉(心のバリアフリー)教育の実施
- 住民への啓発活動、学習機会の提供

広報・啓発

- バリアフリーマップの作成
- バリアフリーマップの周知・活用
- バリアフリーに対する啓発やPR活動

自転車利用者のマナー向上

- 自転車利用マナーアップキャンペーンの実施

バリアフリーな案内情報の検討

- 播磨町のバリアフリーなサインシステムの検討
- 鉄道・バスの運行情報の提供
- バリアフリー化の取り組みの周知

今後の取り組み

継続的改善のしくみとして住民や障がい者・高齢者等との協働によりバリアフリー化を推進するための「播磨町移動等円滑化推進協議会(仮称)」を設置し、この基本構想が一過性の取り組みで終わることがないように、策定後も事業の着実な実施・評価・改善を図っていきます。

